

小学生へのおすすめ本リスト

も く じ

1 年生	1
2 年生	7
3 年生	13
4 年生	19
5 年生	25
6 年生	31
ノンフィクション	37
科学読み物	44

1 年生

あったかいな

くすのきしげのり／作 片山健／絵

廣済堂あかつき 2016年 Eア



ねこのミーちゃんに、もうすぐ赤ちゃんが生まれます。ゆうちゃんたちは、はこの中にふるいもうふなどをして、ミーちゃんのいえをつくりました。そして、おともだちといっしょに赤ちゃんのたんじょうをまいにちまいにちまっています。

おうちにいれちゃだめ！

ケヴィン・ルイス／作 ディヴィッド・エルコリーニ／絵

長友恵子／訳 フレーベル館 2013年 Eオ



「おうちにムシをいれちゃだめ！」とママにおこられたリヴィングストン。つぎはネズミをつかまえてきましたが、やっぱりだめでした。そのあとも、こんどこそうまくいきますようにとのりながら、ブタやシカなどをつれてきます。ママはゆるしてくれるのでしょうか。

おやすみ、はたらくるまたち

シェリー・ダスキー・リンカー／文 トム・リヒテンヘルド／絵
福本友美子／訳 ひさかたチャイルド 2012年 Eオ



こうじげんばでは、いろいろな車のはたらいています。クレーン車、ミキサー車、ブルドーザーなど、ひるまはげんきいっぱいにはたらいた車たちも、日がくるとエンジンをきり、うごきをとめてつかれたからだを休めます。

くれよんがおれたとき

かさいまり／さく 北村裕花／え
くもん出版 2015年 Eク



さくらとゆうちゃんは、いつもいっしょに学校にいくなかよしです。しゃせいかいで、ゆうちゃんは、すぐににわたりのえをかくことに決めました。さくらは、あたらしいクレヨンがもったいなくて、なかなかつかえません。そのとき、ゆうちゃんが「白がたりない」といいました。

へいわってすてきだね

安里有生／詩 長谷川義史／画

ブロンズ新社 2014年 Eへ



おきなわにすむしょうがく 1年生の男の子がかいたしです。ともだちやかぞくとえがおですごくすせいかつ。しぜんとどうぶつにかこまれたのんびりとしたせいかつ。男の子がかんがえたへいわについてかかれています。

ボタンちゃん

小川洋子／作 岡田千晶／絵

PHP研究所 2015年 Eホ



ボタンちゃんは、アンナちゃんのブラウスのいちばん上にとまっています。ところがある日、糸がきれて、ボタンちゃんはおもちゃばこのうらがわまでころがってしまいました。あたりを見まわしていると、小さななきごえがきこえてきました。

おひさまやのおへんじシール

茂市久美子／作 よしざわけいこ／絵

講談社 2012年 913モ



うさぎのおみせ「おひさまや」で、ものにはるとへんじをしてくれる「おへんじシール」をか
ったおばあさん。いえにかえると、いろいろな
ものにはりました。すると、まいにちこえを出
すようになってげんきになり、出かけることが
ふえました。

チョコちゃんときゅうしょく

椰月美智子／さく またよし／え

そうえん社 2015年 913ヤ



チョコちゃんは、きゅうしょくのじかんがあまり
すきではありません。にがてなたべものが
たくさんあって、たべるのがとってもおそいか
らです。おなじグループのだいすけくんは、い
つもあつというまにきゅうしょくをたべおわりま
す。チョコちゃんは、だいすけくんを見て、は
やくたべおわるさくせんをおもいつきます。

ハリーとうたうおとなりさん

ジーン・ジオン／ぶん マーガレット・ブロイ・グレアム／え
小宮由／やく 大日本図書 2015年 933シ



ハリーのいえのおとなりさんは、いつもたかくて大きなこえでうたいます。ひくくてやさしい音がすきなハリーはがまんできません。なんとかしてうたうのをやめさせようとしませんが、いつもしっぺいします。ある日、大すきなえんそうかいをたのしんでいるハリーのまえに、おとなりさんがあらわれます。

2年生

おばあちゃんとバスにのって

マット・デ・ラ・ペーニャ／作 クリスチャン・ロビンソン／絵
石津ちひろ／訳 鈴木出版 2016年 Eオ



ジェイは教会を出ると、おばあちゃんといっしょにバスにのって、いつものばしょへむかいます。雨がふっているし、ともだちは車にのっているし、ジェイはあまり気分がのりません。でも、おばあちゃんはすてきなものを見つけて、ジェイに教えてくれるのです。

九九をとなえる王子さま

はまのゆか／作
あかね書房 2013年 Eク



算数が大きらいな数字の国のかける王子は、でたらめなじゅもんをとなえて、数字の国から九九をなくしてしまいます。ところが、計算がはやくできなくなりお店でけんかがおこるなど、国中が大こんらんしてしまいます。そこで、王子は九九をとりもどすために数字の森へたび立ちます。

しんかいたんけん！ マリンスノー

山本孝／作

小峰書店 2015年 Eシ



ぼくと兄ちゃんは、しんかいたんさていマリンスノーにのりこみました。めざすは光のとどかないまっくらなしんかいです。メガマウスやシーラカンスなどのしんかいぎょたちが、ライトの光にうかびあがってはきえていきます。ぼくたちは、さらにふかくもぐっていきました。

でこぼこ

凸凹ぼしものがたり

あんびるやすこ／作・絵

ひさかたチャイルド 2012年 Eテ



うちゅうにうかぶ小さな星に、凸凸国と凹凹国という二つの国がありました。そこにすむ凸凸人と凹凹人は、よくにいていましたが手の形だけがちがっていました。そして、なかがわるく、おたがいわる口を言っくらしていました。あるとき、二つの国のまん中にたつ高いとうの上でたいへんなことがおこります。

ふしぎなボジャビのき アフリカのむかしばなし

ダイアン・ホフマイアー／再話 ピート・フロブラー／絵

さくまゆみこ／訳 光村教育図書 2013年 Eフ

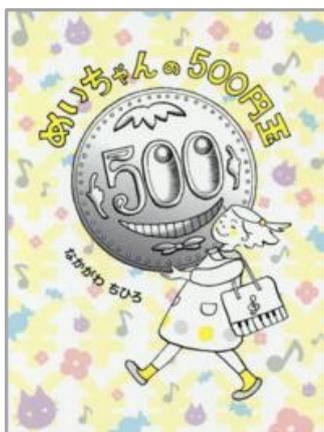


おなかをすかせたゾウたちが、おいしそうな赤いみがついている木を見つけました。しかし、木にまきついているへびに、木の名前を言わないと赤いみは食べられません。木の名前を知っているのは、とおいところにいるライオンだけです。そこで、走りのはやいシマウマが聞きに行きます。

めいちゃんの500円玉

なかがわちひろ／作・絵

アリス館 2015年 913ナ



めいちゃんは、道におちていた500円玉をひろいました。その500円玉は、自分をつかって買いものをするようにと、話しかけてきます。500円玉をもってスーパーやペットショップに行くめいちゃんですが、ぴったり500円をつかうのは、なかなかむずかしいようです。

しゅくだいさかあがり

福田岩緒／作・絵

PHP研究所 2014年 913フ



1 がっきのおわりに、「さかあがりのできない子は、夏休みのしゅくだいにする」と先生が言いました。ゆうたは夏休みもあと1週間というときに思ひだし、さかあがりのれんしゅうをあわててはじめます。ところが4日たってもできません。だんだんはらが立ってきて、さかあがりなんてどうでもいいやというきもちになってしまいます。

ひみつのきもちぎんこう

ふじもとみさと／作 田中六大／絵

金の星社 2015年 913フ



ゆうたが、学校で友だちの頭をはたいたとき、ジャリーンというききなれない音が聞こえてきました。家に帰ると、きもちぎんこうから手紙がとどいていました。「あずかっている『つうちょう』がいっぱいになりそうです。早く何とかしてください」と書かれています。ゆうたは、きもちぎんこうに行ってみることにしました。

ペットのきんぎょがおならをしたら…？

マイケル・ローゼン／作 トニー・ロス／絵 ないとうふみこ／訳
徳間書店 2016年 933口



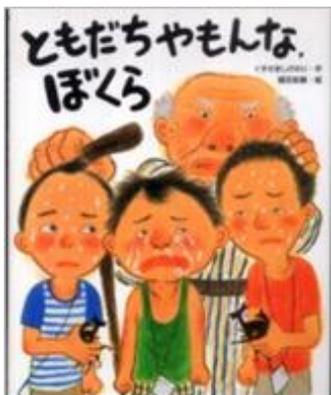
エルビーは子犬がほしくてたまりません。ママに言うと「いいわよ」と答えました。でも、ママが買ってきたのは子犬ではなく^{きんぎょ}金魚でした。しかたなくエルビーは、金魚に「フワフワ」と名前をつけて、子犬に教えるようなげいをしこむことにしました。

3 年生

ともだちやもんな, ぼくら

くすのきしげのり／作 福田岩緒／絵

えほんの杜 2011年 Eト

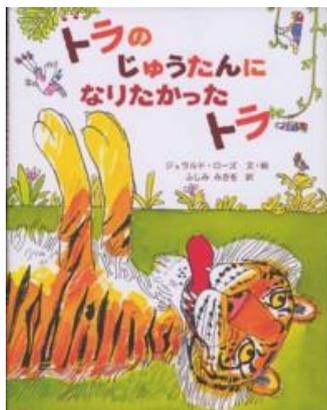


夏休み、朝のラジオたいそうの帰りに、ぼくとマナブとヒデトシはカブトムシを見つけます。木に登ってつかまえようとしたところを、カミナリじいさんに見つかってしまいます。3人でいちもくさんににげだしますが、ヒデトシがころんで、にげおくれました。ぼくとマナブはどうしようかと考えます。

トラのじゅうたんになりたかったトラ

ジェラルド・ローズ／文・絵 ふしみみさを／訳

岩波書店 2011年 Eト



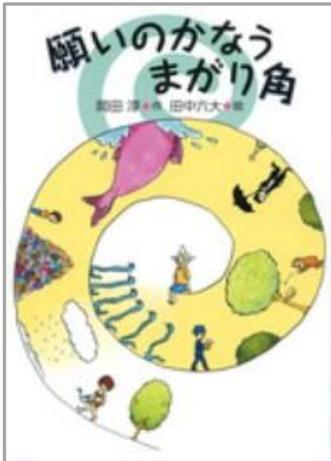
年をとったせいでえものがめったにとれなくなり、やせてしまったトラがいました。トラはいつも、きゅうでんのまどから王様と家族がおいしそうにごはんを食べる様子を見て、うらやましく思っていました。ある日、トラは、きゅうでんの庭にほしてあるトラの毛皮のじゅうたんを見たたん、ひらめきます。

ねが

願いのかなうまがり角

岡田淳／作 田中六大／絵

偕成社 2012年 913才



おじいちゃんは、ぼくのお父さんのお父さんで、近くのアパートに一人で住んでいます。おじいちゃんは小学3年生のぼくに、おじいちゃんが子どものころやわかいころの話を語ってくれます。雨の中を空へ向かって泳いで行った話や、ゆうびん受けまで新聞を取りに行くだけで半日かかる家でのぼうけんの話など、ゆかいでふしぎな7つのお話です。

うさぎのラジオ

島村木綿子／作 いたやさとし／絵

国土社 2011年 913シ



ミニうさぎの月丸が耳から落とした、小さな黒い箱を拾ったちなみ。その箱はなんと、うさぎのためのばんぐみが流れる、うさぎのラジオでした。次の日から、ちなみは、うさぎのラジオをきくのが楽しみになりました。

アルルおばさんのすきなこと

松本聡美／作 見杉宗則／絵

国土社 2012年 913マ



アルルおばさんは、大すきなクッキーの作りすぎで、せなかとかたがはれてしまいます。お医者さまに、重い物を持つことをきんしされ、ねこのテッティをだっこすることもできなくなりました。ふたたびテッティをだっこしたいアルルおばさんは、少しずつトレーニングを始めます。

漢字だいぼうけん

宮下すずか／さく にしむらあつこ／え

偕成社 2014年 913ミ

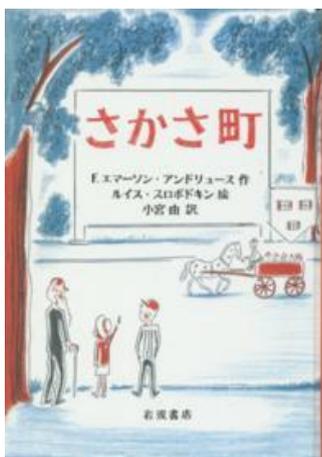


すうくんは、おじいちゃんとおばあちゃんから旅行のおみやげをもらいました。それは、3びきの木ぼりのサルで、「見ざる、聞かざる、言わざる」と言われているものでした。その言葉の意味がよくわからないすうくんのために、おじいちゃんが「目は見る」「耳は聞く」「口は言う」と漢字を書いてくれました。

さかさ町

F. エマーソン・アンドリュース／作 ルイス・スロボドキン／絵

小宮由／訳 岩波書店 2015年 933ア



汽車でおじいちゃんの家に向かっていたリッキーとアンは、ランカスター駅でおりる予定でしたが、線路の事故でさかさ町駅でおりることになりました。しかし、さかさ町はふつうの町とちがっていました。車は屋根の上にとまり、子どもがはたらきおとしよりが遊ぶ、すべてのことがさかさまなのです。

チャーリー、ただいま家出中

ヒラリー・マッカイ／作 富永星／訳 田中六大／絵

徳間書店 2014年 933マ

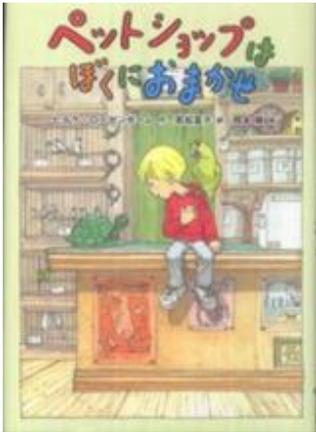


7才のチャーリーは、11才のお兄ちゃんばかりひいきする家族のことが大きらいです。今日もまたママにおこられてしまい、クマのぬいぐるみやおもちゃ、テレビゲームなどの大荷物を持って家出をすることにしましたが、行く所がありません。そこでチャーリーは、自分の家の庭にある、物おき小屋のうらにかくれることにしました。

ペットショップはぼくにおまかせ

ヒルケ・ローゼンボーム／作 若松宣子／訳 岡本順／絵

徳間書店 2011年 943口



ペットショップの店番をすることになったティミー。お店には人間や動物がおかしななやみをもってやって来ます。おならが止まらないカエルやきれいな声しか出なくなったカラスなど。ティミーはオウムのシャベリスキーやカメのコリーナの力をかりてなやみをかいけつします。

4年生

300年まえから伝わるとびきりおいしいデザート

エミリー・ジェンキンス／文 ソフィー・ブラッコール／絵 横山和江／訳
あすなろ書房 2016年 Eサ



イギリスに300年前から伝わるブラックベリー・フルという名前のデザートがあります。ブラックベリーは木の実で、つぶして生クリームと混ぜ合わせ、冷やして食べます。アメリカにも伝わり、ブラックベリー・フルが作られるかんきょうや道具などに、くらしの変化を見ることができます。時代とともに変わったこと、変わらないことをさがしてみましよう。

とりあつかい かあちゃん取扱説明書

いとうみく／作 佐藤真紀子／絵
童心社 2013年 913イ



4年生の哲哉^{てつや}は、家族しょうかいというテーマでお母さんにいつも感じている不満を作文に書きました。それを読んだお父さんは、お母さんをほめるときげんがよくなると教えてくれました。哲哉は思ったとおりにお母さんを動かすために、「かあちゃん取扱説明書」を作ろうと考え、お母さんの観察をはじめます。

2分の1成人式

井上林子／著 新井陽次郎／絵

講談社 2015年 913イ



10才になったユメは、アニメ「魔法少女マリン」が大好きであこがれていますが、以前友達にようちと思われたため、好きなことはひみつにしていました。しかし、たんじょうびケーキがとりかえられたことで、クラスメイトののぞみくんにひみつが知られてしまいます。ある日、自分のかこ十年をふりかえり、十年後の未来を書いた「二分の一成人式文集ノート」を作り、発表することになりました。

ゆびわがくれたプレゼント

田沢五月／作 吉田尚令／絵

ポプラ社 2012年 913タ



夏休み、香菜^{かな}は一人でおじいちゃんのいる海辺の町へ行くことになりました。そこでは、食べ物は魚ばかりで、香菜の好きな肉の料理は一切ありません。ある日、近くの海で女の子と出会います。遊んでいるうちに仲良くなった香菜は、女の子からふしぎな指輪をあずかります。

くりいむパン

濱野京子／作 黒須高嶺／絵

くもん出版 2012年 913ハ



かおり
香里の家には、5世代9人の大家族と二人の下宿人がすんでいます。そこに同い年の親せきの未^み果が、いっしょに住むことになりました。未果がやってきてからは、みんな未果ばかりをかわいがります。香里はそんな様子を見ていつもはら立たしく思っていました。ある日、学校で未果がお金を拾っているという、うわさが流れてきます。

先生、しゅくだいわすれました

山本悦子／作 佐藤真紀子／絵

童心社 2014年 913ヤ



ゆうすけは、宿題をわすれたのに、おなかがいたくて宿題ができなかったと先生にうそをつきます。先生は、うそをつくならもっと上手に、ばれないで、聞いた相手が楽しくなるよううそにきなさいと言いました。それを聞いたゆうすけは、そんなのかんたんなことだと思いました。

ひめ メリサンド姫 むてきの算数！

E. ネズビット／作 灰島かり／訳 高桑幸次／絵

小峰書店 2014年 933ネ



悪いようせいのまほうで、かみの毛が生えなくなったメリサンド姫は、かみの毛が生えるよう、まほうの小箱に願いました。ところが「切るたびに倍の速さでのびますように」と願ったため、毎朝のびすぎたかみの毛にうもれて、身動きがとれないほどです。王様はかしこい王子に姫のかみの毛がのびるのを止めてもらおうとします。

ただいま！ マラング村 タンザニアの男の子のお話

ハンナ・ショット／作 佐々木田鶴子／訳 齊藤木綿子／絵

徳間書店 2013年 943シ

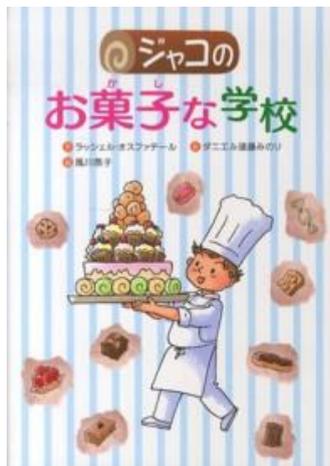


ツソはアフリカのタンザニアにあるマラング村に住む4才の男の子です。両親がおらず、おばさんの家でくらしていますが、いじめられています。そこで、お兄ちゃんと家を出る決心をし、大きな町を目指すことにしました。ところが、人ごみでお兄ちゃんとはぐれてしまいます。

かし ジャコのお菓子な学校

ラッセル・オスファテール／作　ダニエル遠藤みのり／訳

風川恭子／絵　文研出版　2012年　953才



ジャコは、食べるのが大好きな男の子です。図書館でクッキーのレシピを書き写して、家に帰ってから一人で作ってみました。クッキーはとてもおいしくできたので、ジャコは毎週お菓子を作り、だんちで売り始めます。ところが、らんぼうな中学生がお菓子を全部とってしまいました。ジャコはおじいちゃんといっしょに、仕返しをするための作戦を考えます。

5 年生

マッチ箱日記

ポール・フライシュマン／文 バグラム・イバトウーリン／絵
島式子、島玲子／訳 BL出版 2013年 Eマ



ひいじいちゃんは、子どものころ、字を書くことも読むこともできませんでした。それで、日記を書く代わりに、マッチ箱に思い出の品を入れることにしました。そのマッチ箱を一つ一つ開けながら、おさないころ過ごしたイタリアの話、家族でアメリカに来て苦労した話をわたしに話してくれました。

ぼん 盆まねき

富安陽子／作 高橋和枝／絵
偕成社 2011年 913ト



7月になると、毎年、なっちゃんの家におじいちゃんから「盆まねき」の手紙がとどきます。「盆まねき」は、8月のお盆にしんせきが集まって、みんなでご先祖様のくようをする行事です。今年の夏も、なっちゃんは、家族でおじいちゃんの家に出かけました。そして、おじいちゃんやおばちゃん、大ばあちゃんから、子どものころの話を聞きます。

ありまつ しょうくろう
有松の庄九郎

中川なをみ／作 こしだミカ／絵

新日本出版社 2012年 913ナ



昔、尾張^{おわり}の国に東海道を整備するため、山を切り開いて新しい村を作ることになりました。貧しい村に住む庄九郎は、かいたくした土地が自分のものになるという話を聞いて、村のわかものたちと移住について話し合います。ところが、移住を決めた8人のうち、最年少の弥七^{やしち}だけは家族に反対されてしまいます。

ふたり

福田隆浩／著

講談社 2013年 913フ



村井准一^{じゅんいち}は、クラスでいじめにあっている転校生の小野佳純^{かすみ}が気になっています。ある日、二人ともミステリー作家「月森和」^{つきもりかず}が好きなことが分かり、仲良くなりました。その作家が別の名前で本を出版していることを知り、二人はいっしょに月森和の別の名前を調べることにしました。

パンプキン！ ^{もぎげんばく} 模擬原爆の夏

令文ヒロ子／作 宮尾和孝／絵

講談社 2011年 913レ



^{おおさか}大阪に住む5年生のヒロカは、いとこのたくみから模擬原爆パンプキンについて教わります。昔、このばくだんが自分の住む町に落とされ、たくさんの人がなくなったというのです。最初はショックを受けたヒロカでしたが、たくみとともに模擬原爆について調べることになりました。

三本の金の髪 ^{かみ}の毛 ^{ちゅう とうおう} 中・東欧のむかしばなし

松岡享子／訳 降矢なな／絵

のら書店 2013年 908サ



昔あるところに、かりが好きな王様がいました。ある日、道に迷った王様は炭焼きの男に出会い、家にとめてもらいます。その夜、炭焼きにむすこが生まれ、3人のろうばがむすこのしょうらいについて予言をします。それを聞いた王様は、予言が当たらないようにすることができないかと考えます。

ゆうれい リックとさまよえる幽霊たち

エヴァ・イボットソン／著 三辺律子／訳

偕成社 2012年 933イ



ハンフリーは幽霊の子どもでしたが、不気味な両親や兄弟とちがって、ちっともおそろしくない幽霊でした。ある日、ハンフリーの住む古い城がレジャーしせつに改装されることになり、一家はすみかを追われます。にげこんだ先の学校で出会った少年リックとハンフリーたちは、いっしょに新しいすみかを探す旅に出ます。

まじよ アーヤと魔女

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作 田中薫子／訳 佐竹美保／絵

徳間書店 2012年 933シ



身よりのない子どもの家で育った女の子アーヤは、魔女の家にひきとられます。そこでは家から出ることもできず、毎日大変な仕事をさせられるばかりでした。すっかりいやになったアーヤは、魔女の飼いねこのトーマスに手伝ってもらい、こっそり、魔女をやっつけるためのじゅもんを作ることになりました。

あいぼう ぼくたちの相棒

ケイト・バンクス、ルパート・シェルドレイク／著 千葉茂樹／訳

あすなろ書房 2015年 933ハ



小学6年生の少年レスターは、引っこしてきたばかり。心の支えは、4才のときから飼っている犬のビル・ゲイツだけです。転入したクラスで出会ったジョージも犬のバードを可愛がっています。二人は、「犬に飼い主の帰りの時間がわかるか」という実験をいっしょにすることにしました。

6 年生

希望の牧場

森 絵都／作 吉田尚令／絵

岩崎書店 2014年 Eキ

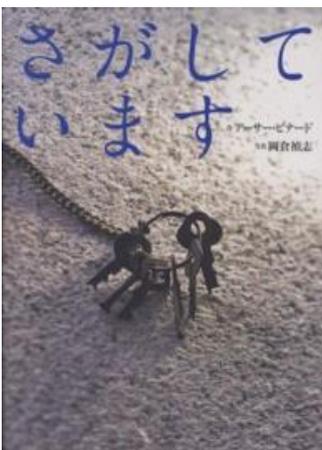


2011年3月11日。東北でじしんが起きた直後、つなみが原子力発電所をおそいました。その近くにあった牧場は、放射能おせんで「立ち入り禁止区域」になりました。だれもいなくなった町の牧場で、ひばくした330頭の肉牛を世話し続ける牛飼いは、売れない牛を生かし続ける意味を考えます。福島県にある「希望の牧場・ふくしま」のことを基に描いた絵本です。

さがしています

アーサー・ビナード／作 岡倉禎志／写真

童心社 2012年 Eサ



広島平和記念資料館に収蔵されている時計や軍手、弁当箱などは、1945年8月6日広島に落とされた原爆「ピカドン」でなくなった人たちが使っていた物です。原爆のカタリベとなっています。巻末に14の収蔵品のくわしい解説があります。

ひすい 夏休みに、翡翠をさがした

岡田依世子／作 岡本順／絵

アリス館 2014年 913才



小学6年生の玉江^{たまえ}の家は、翡翠がとれる町の旅館です。父親が旅館の仕事をさぼって小説ばかり書くので、母親はおこって弟たちを連れ、実家に帰ってしまいました。そんな夏休みのある日、玉江は、はまべで翡翠を探す転校生の赤城君に出会い、いとこの哲平^{てっぺい}と3人で、翡翠探しを始めます。

りゅう むすめ 竜が呼んだ娘

柏葉幸子／作 佐竹美保／絵

朝日学生新聞社 2013年 913力



ミアの住む村は深い谷にあり、10才の春に東のほら穴の竜に呼ばれた子だけが村を出ていくことができます。おばに育てられたミアは、竜に呼ばれて、その背に乗りました。連れて行かれたところは何と王宮で、のろいをかけられたきしウズズ様の部屋子として働くことになりました。

ぼくたちのリアル

戸森しるこ／著 佐藤真紀子／絵

講談社 2016年 913ト



小学5年生の新学期、ぼくの気持ちは複雑でした。それは、幼なじみのリアルと初めて同じクラスになったからです。地味なぼくは、学校で人気者のリアルと比べ、勝ち負けをつける自分がきらいでした。そこに転校生のサジが現れます。3人は、いっしょに過ごす時間が多くなり、次第に友情を深めていきます。

シャイローがきた夏

フィリス・レイノルズ・ネイラー／著 さくまゆみこ／訳 岡本順／画

あすなろ書房 2014年 933ネ



11才の少年マーティーは、散歩中、子犬に出会います。おびえた様子の子犬は彼になつき、家についてきたので、シャイローという名前をつけることにしました。ところが、シャイローは、村のきらわれ者ジャドが育てているりょうけんでした。ひどいあつかいをするジャドからシャイローを助けたいマーティーは、だれにもないしょである決断をします。

ぼくが消えないうちに

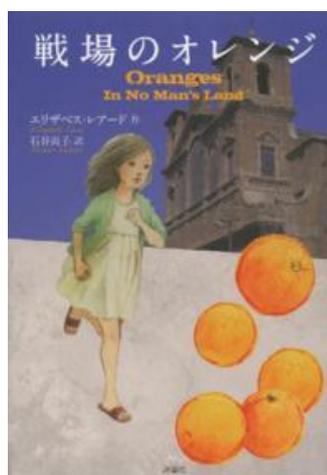
A. F. ハロルド／作 エミリー・グラヴェット／絵 こだまともこ／訳
ポプラ社 2016年 933ハ



ラジャーはアマンダの最大の親友ですが、アマンダにしか見えません。なぜなら、ラジャーは、アマンダの想像力から生まれた、見えない友だちだからです。二人はいつもいっしょに楽しい時間を過ごしていました。ところがある日、不気味な男が現れてから、二人ははなればなれになってしまいます。アマンダに忘れられると消えてしまうラジャーは、アマンダを探す旅に出るのです。

戦場のオレンジ

エリザベス・レアード／作 石谷尚子／訳
評論社 2014年 933レ



レバノンの首都ベイルートが内戦で戦場となり、アイーシャは、ばくげきによって母さんと家を失います。父さんは外国へ仕事を探しに行ったまま、まだ帰って来ません。アイーシャは、二人の幼い弟とおばあちゃんとで、にげのびた先で身を寄せ合って暮らし始めます。

ぼくとテスの秘密の七日間

アンナ・ウォルツ／作 野坂悦子／訳 きたむらさとし／絵
フレーベル館 2014年 949ウ



10才のサミュエルは旅行先のテッセル島で、テスという女の子と出会います。兄がケガをして、家族旅行の予定が台無しになってしまい、サミュエルはテスといっしょに過ごすことにします。テスが母親にないしよで、バンガローに特別なお客を招待する計画を聞き、サミュエルは手伝うことにします。

ノンフィクション

ゾウの森とポテトチップス

横塚眞己人／しゃしんとぶん

そうえん社 2012年 Eソ



マレーシアのボルネオ島には、たくさんのしゅるいの動物がくらしています。この島は森がへっています。森がへるとゾウたち動物は食べ物なくなり、きけんをおかして川をわたります。ポテトチップスやカップめんなどに使うパーム油を取るために、森はアブラヤシの農園に作りかえられてしまったのです。人間の生活をゆたかにするために、動物は生活の場をうばわれてしまいました。

つなみてんでんこ はしれ、上へ！

指田和／文 伊藤秀男／絵

ポプラ社 2013年 Eツ



「つなみがくるぞー！」という声がして、ぼくは中学生のお姉さんといっしょににげました。2011年3月11日に、東日本で起こった大じしんとつなみのお話です。東北地方には、「つなみがきたら、自分で自分の身を守って高い所へにげろ」という意味の「つなみてんでんこ」という言葉があります。

ヘレン・ケラーのかぎりない夢^{ゆめ}

見る・聞く・話す・読む・書く・学ぶ夢に挑戦した生涯^{ちようせん} ^{しょうがい}

ドリーン・ラパポート／文 マット・タヴァレス／絵 もりうちすみこ／訳
国土社 2014年 Eへ



1 才の時、こうねつを出したヘレン・ケラー。ねつが引くと目は見え、耳も聞こえなくなっていました。そのため、自分が伝えたいことがわかってもらえないときは、いつもかんしゃくを起こしていました。ヘレンが7才のころ、サリバン先生と出会います。先生はヘレンの手のひらに字を書いて、言葉を教え始めます。

ぼくは、チューズデー

かいじょけん

介助犬チューズデーのいちにち

ルイス・カルロス・モンタルバン／文 ブレット・ウィッター／共著
ダン・ディオ／写真 おびかゆうこ／訳 ほるぷ出版 2015年 Eホ

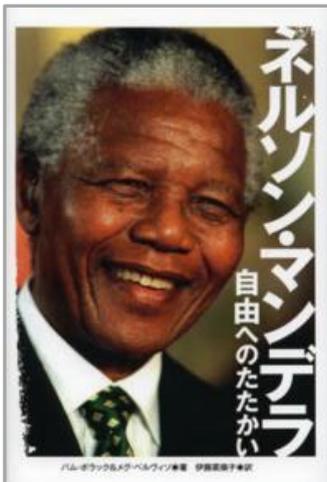


イラクせんそうで心と体にきずを負ったルイスは、一人で生活できなくなりました。そんなルイスを助けるのは、介助犬のチューズデー。ルイスが人ごみでパニックを起こさないよう見守り、ふじゆうな足をささえます。介助犬の仕事と人間とのつながりをえがいた写真絵本です。

ネルソン・マンデラ 自由へのたたかい

パム・ポラック、メグ・ベルヴィソ／著 伊藤菜摘子／訳

ポプラ社 2014年 289マ



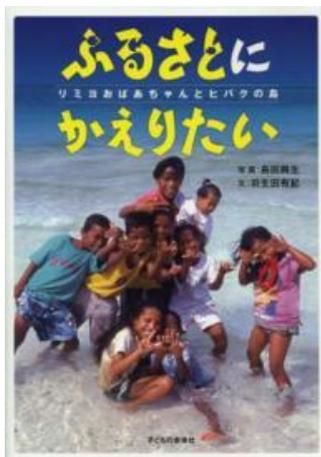
南アフリカに生まれたネルソン・マンデラは、子どものころから、すぐれたしどうしゃになるゆめを持っていました。そのころの南アフリカはイギリスにしいはされ、黒人は白人からさべつを受けていました。だれもが平等な社会にするために活動を始めるネルソンですが、黒人へのさべつはますますひどくなっていきます。

ふるさとにかえりたい

リミヨおばあちゃんとヒバクの島

羽生田有紀／文 島田興生／写真

子どもの未来社 2014年 369ハ



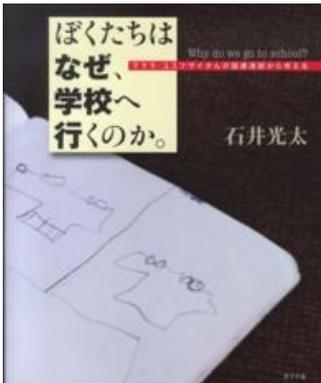
リミヨおばあちゃんは、日本のずっと南にあるロンゲラップという島で、13才のときに、すいばくじっけんでひばくしました。じっけんでまきちらされたほうしゃのうをふくんだ白いこなは、生き物・空気・土・海の中に入りこみ、ロンゲラップでくらせなくなりました。リミヨおばあちゃんは、今もふるさとに帰ることができません。

ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。

マララ・ユスフザイさんの^{こくれんえんぜつ}国連演説から考える

マララ・ユスフザイ／述 石井光太／文

ポプラ社 2013年 373頁



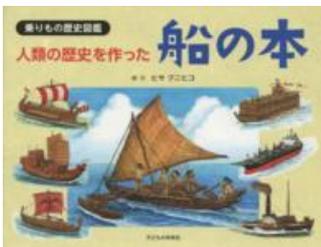
「学校へ行きたい。女の子も学校へ行って勉強をするけんりがある」と言ったために、15才のマララは、ぶそうグループにうたれてしまいました。世界には学校へ行きたくても行くことができない子どもがたくさんいるのです。マララが国連演説で語った言葉から、子どもが学校に行く意味を考えます。

じんるい れきし 人類の歴史を作った船の本

ずかん 乗りもの歴史図鑑

ヒサクニヒコ／絵・文

子どもの未来社 2016年 550頁



人類はどのような目的で船を使ってきたのでしょうか。物を運ぶための小さな船から始まり、大きな船で世界中を旅するようになります。それぞれの時代や国で使われていた船のとくちょう・役割などを、人の歴史と一緒に、絵と文でせつめいしています。かんまつには用語かいせつがついています。

山に肉をとりに行く

田口茂男／写真・文

岩崎書店 2012年 659タ



野生の鳥やけものをとらえることをしゅりょうと言います。これは、岐阜県郡上市でのしゅりょうをしゅざい・さつえいした本です。山に入り、イノシシやシカをしとめ、かいたいし、なかまで分けたり店に売ったりします。また、しゅりょうだけでなく、山の手入れや木のばっさい、田畑のこうさくなど、しぜんと深くかかわりあう山里の生活をしょうかいしています。

ゆう き

勇気の花がひらくとき

やなせたかしとアンパンマンの物語

梯久美子／文

フレーベル館 2015年 726カ

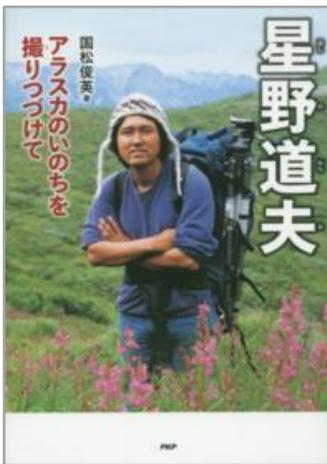


子どもたちが大すきなアンパンマン。こまっている人がいれば、かならず助けにきてくれます。作者のやなせたかしは、せんそうのけいけんから、うえている人に食べ物をわけることが本当のせいぎだと考えました。アンパンマンのお話やテーマソングには、作者が大切に考えているせいぎのメッセージがこめられています。

みち お 星野道夫 アラスカのいのちを撮りつづけて

国松俊英／著

PHP研究所 2016年 740ク



アラスカの野生動物やしぜんを撮りつづけて、43才でなくなった星野道夫のでんきです。アラスカの写真集を見た道夫は、ほっきょくけんにあるエスキモーの村・シシュマレフの写真に心ひかれ、大学時代にその村にホームステイします。このけいけんが、道夫の後の^{のち}の人生を大きく方向づけることになります。

さだ こ せん ば づる 禎子の千羽鶴

佐々木雅弘／著 くまおり純／装画・本文イラスト

学研パブリッシング 2013年 916サ



広島の平和きねん公園の一角に、「げんばくの子のぞう」があります。モデルになったのは2才でひばくした^{ささき}佐々木禎子という女の子です。小学校に入った禎子は、体育がとくいで、毎日ともだちと楽しくすごしていました。ところが6年生の冬、禎子の体にいへんがあらわれ始めたのです。

科学読み物

うなぎのうーちゃんだいぼうけん

くろきまり／文　すがいひでかず／絵

福音館書店 2014年 Eウ



うなぎのうーちゃんは、遠い南の海で生まれました。生まれたばかりのうーちゃんは、海の流れに乗って、北のりくちの方へ向かいます。りくちへたどり着いたうーちゃんは、川で生活をするようになりました。

おかしなゆきふしぎなこおり

片平孝／写真・文

ポプラ社 2012年 451カ



雪と氷は、水がひやされたときに見られるすがたです。同じ雪や氷でも、気温やつもる場所、ふり方によっていろいろな形になります。屋根いっぱいにつみ重なった雪はぼうしのように、湖の波しぶきはシャンデリアのようにこおります。雪と氷のおかしな、ふしぎなすがたを見ることができる写真絵本です。

ぼくたちいそはまたんていだん

三輪一雄／作・絵 松岡芳英／写真

偕成社 2013年 407ミ



かいととまりは、おじいちゃんが作ったひょうちやくぶつのなぞときゲームにいどみます。^{しゅん か しゅうとう}春夏秋冬それぞれのいそやはまべで、波によって海岸に打ち上げられたさまざまなひょうちやくぶつをさがして、なぞをといていきます。二人が見つけた貝などのひょうちやくぶつを、写真や絵でくわしくしょうかいしています。

み 月の満ちかけ絵本

大枝史郎／文 佐藤みき／絵

あすなろ書房 2012年 446才



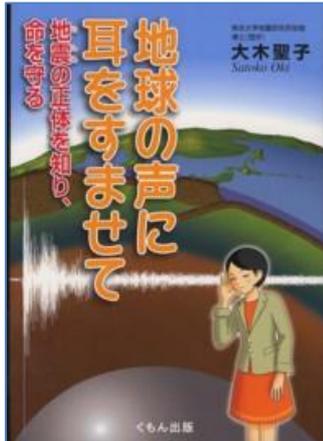
新月、三日月、じょうげんの月、まんげつ、かげんの月、明けの三日月など、月の満ちかけを絵や図などでせつめいしています。また、日食と月食のふしぎ、しおの満ち引きの仕組みなど月とうちゅうの豆ちしきものっています。さいごには、2012年か2019年までの月の満ちかけ表もついています。

地球の声に耳をすませて

じしん 地震の正体を知り、命を守る

大木聖子／著

くもん出版 2011年 453才

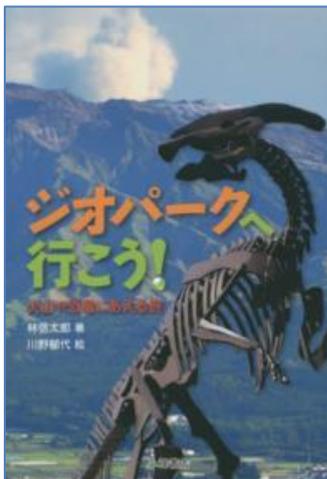


作者の大木聖子は、地震計を使って大地の声を聞く地震学者です。大地の声を読みとくと、地球の中の様子や地震・つなみの仕組みが分かります。次に起こるかもしれないきよだい地震のときに、自分たちの命を守ってほしいという思いで書かれた本です。

ジオパークへ行こう！ 火山や^{きょうりゅう}恐竜にあえる旅

林信太郎／著 川野郁代／絵

小峰書店 2015年 450ハ



ジオパークとは、「地球の公園」あるいは、「大地の公園」などとやくされています。地形、ちそう、火山などを直に見て、地球や大地のなりたち、ひとびとのくらしとのかんけいを学ぶことができるところです。この本では、日本にある39のジオパークの中から、おすすめのばしょをえらんで、写真や図を使ってくわしくしょうかいしています。

生き物のちえ ^{しぜん} 自然科学読み物 ^{かん} 全5巻

伊藤年一／文 今泉忠明／監修

学研教育出版 2011年 468イ



地球上の生き物は、おたがいにかんけいを持ってくらしています。それは、人間から見ると、助け合ったり、りようしたり、だましたり、まるで「ちえ」をはたらかせているようです。たとえばヤドカリはどくを持つイソギンチャクに身を守ってもらい、イソギンチャクはヤドカリにくっつくことで、いろいろな場所にいどできます。このような生き物どうしのかんけいを書いた70へんの短い読み物がのっています。

かしこい ^{たんさいぼうねんきん} 単細胞粘菌

中垣俊之／文 齊藤俊行／絵

福音館書店 2015年 473ナ



1 この細胞でできている単細胞生物、粘菌。単細胞という言葉には、あまりかしこくないという意味もあります。しかし、粘菌を使ってめいろや短いきよりをえらばせるじっけんをすると、単細胞生物のかしこさがわかってきました。のうやしんけいを持たない粘菌と、わたしたち人間に共通しているところはあるのでしょうか。

きのこ ^{ほうし} ^{まい} ふわり胞子の舞

埴沙萌／写真・文

ポプラ社 2011年 474ハ



きのこからけむりがでています。けむりの正体は、こなのようなちいさなつぶで「胞子」とよばれています。胞子はきのこの「たね」のようなものです。様々なきのこが胞子を出す様子、シイタケがせいちようする様子、虫が胞子を食べる様子などを写真でしょうかいしています。家で胞子を見るほうほうものっています。

アリとくらすむし

島田たく／写真・文

ポプラ社 2015年 486シ



アリといっしょにくらすいろいろな虫をしょうかいする写真絵本です。アリにあまいしるをあげるアブラムシ、アリからエサをもらうアリヅカコオロギ、アリのようちゅうを食べるアリスアブ、アリにまぎれててきから身をかすハネカクシなど。アリとくらす虫の生活がのぞけます。

のう し れい しんかんせん はや 脳のうの指令し れいは新幹線しんかんせんよりも速はやい！

絵と図でわかる「人体」のふしぎ

サイモン・ロジャース／著 ピーター・グランディ／イラストレーション
山内めぐみ／訳 主婦と生活社 2016年 491口



脳は、時速 322 キロメートルの速さで身体にめいれいをだしたり、体温やけつあつをかんりしたり、身体のバランスをとったりしています。他にも、人間の体にはさまざまなきのうがあります。きんにくでできているしんぞうやしんけいをコントロールする脳など、人体のしくみややくわりについて、じょうほうをイラストで伝えています。

おこめができた！

ひさかたチャイルド 2013年 616才



お米作りは春に始まります。お米のたねは「もみ」といい、べつの場所で育ててなえにします。農家の人は田んぼになえを植えたあとざっそうやがいちゅう、そしてすずめなどにも気をつけながらお米作りをします。春から秋にかけて、お米になるまでの様子が写真できろくされています。

平成 31 年 2 月 発行
小学生へのおすすめ本リスト
宗像市教育委員会図書課

〒811-3437 福岡県宗像市久原 4 0 0 番地

TEL : 0940-37-1321 FAX : 0940-37-2956

Eメール : tosyo@city.munakata.fukuoka.jp